

「アスナビ」説明会 トップアスリートが 自己アピール

経済同友会は4月6日、日本オリンピック委員会(JOC)と連携し、トップアスリートの就職支援ナビゲーション「アスナビ」説明会を開催した。アスリート採用実績のある企業の事例紹介や、7人のトップアスリートたちによる熱いプレゼンテーションに会員所属企業27社36人の経営者・人事担当者が耳を傾けた。終盤はトップアスリートと企業の直接交流の時間も設けられ、場内は活況を呈した。



「アスナビ」
とは...

就職を希望している現役トップアスリートと企業のマッチングをする、JOCによる無料の就職支援制度。経済同友会では2010年のスタート時より会員所属企業への説明会を開催し、積極的に協力している。

冒頭、挨拶に立った岩淵健輔JOC理事は2010年にスタートしたアスナビが13年目を迎えたことに感謝の意を示し、「今後もチームジャパンの一員となって共にアスリートを支えていただきたい」と参加者に呼び掛けた。

続いて、柴真樹JOCキャリアアカデミー事業ディレクターがアスナビの概要を説明、これまでに216社355人の採用実績があることに触れ、アスリート採用後の応援体制の重要性やアスリート活用のポイントなど事例を用いて説



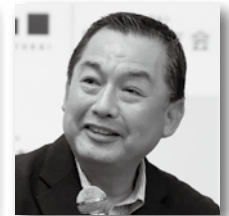
岩淵 健輔
JOC理事



柴 真樹
JOCディレクター



小谷 実可子
JOC常務理事



大西 賢
委員長

明した。また、当日プレゼンを行ったアスリートを交えた座談会では大西賢東京オリパラ2020レガシー検討PT委員長とアーティストックスイミング元

日本代表でJOC常務理事の小谷実可子氏がトークをけん引、プレゼンでは見せ切れなかった選手一人ひとりの個性を引き出した。

◆採用企業事例

責任感強い選手と社員サポーターに一体感

高場 正能 ■ ADワークスグループ 広報室 室長 ■ 高橋和生選手を採用(競歩) ● 広報室所属。2019年早稲田大学社会科学部卒業



弊社は高橋選手に渾身のアプローチをして採用に漕ぎ着けました。彼を選んだ最大の理由は「直感」。個性派揃いの企業風土にあって、多くの社員から好かれそうな人柄だと感じたのです。入社式で全社員に紹介すると同時に、サポート組織 Team KAZUKI を結成しました。当初は私が平日の練習に

も付き合い、社員にどのようにサポートするかを伝えていましたが、今は Team KAZUKI のメンバーにすっかり任せています。

入社時から彼に言い続けたことは「競技中だけでなく練習の時もオフの時も、会社の看板を背負っているという責任を全うすること。競技を続けられる環境を支えてくれる人たちへの感謝を忘れないこと。会社の状況を知る努力をし、自分のことを知ってもらう努力をすること」でした。彼

は年一回、大規模な報告会を自ら開催し、多くの社員に呼び掛けて感謝の気持ちを形で表す努力を続けています。その上で、広報室員としても責任感を持って仕事をしています。

オリンピック出場を明確な目標に掲げ真っ直ぐ努力している彼の存在は、社員一同に大きな刺激と、誰かを応援することの喜びを与えています。アスリートである以前に、弊社の一員としてかけがえのない存在になっています。彼のパリ五輪出場を心から応援し、もしそれがかなわなくても「また一緒に頑張ろう」と共に高みを目指していきます。

コミュニケーション能力に自信



■ **伊藤 桜** (いとう さくら) ●ビーチバレーボール
 ●2002年宮城県生まれ。2024年3月産業能率大学情報マネジメント学部現代マネジメント学科卒業見込み ●マインビジャパン・ビーチバレー・カレッジツアー2021沖縄大会2位、2022年第29回関東大学ビーチバレーボール男女選手権大会優勝、同年第34回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会優勝

学生時代はずっと部長を務めていたこともあり、常に自らリーダーシップを取り、戦術を考えて試合に挑んできました。ペアの相手によって柔軟に対応し、相手の良さを引き出すなど、競技を通じて高めたコミュニケーション力には自信があります。

インフルエンサーとしての存在感示す



■ **衣笠 乃愛** (きぬがさのあ) ●ビーチバレーボール
 ●2001年滋賀県生まれ。2024年3月明海大学外国語学部日本語学科卒業見込み ●ジャパンビーチバレーボールツアー2022サテライト高萩大会優勝、アクティオ杯ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2022第34回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会準優勝、2022年FISUビーチバレーボール世界大学選手権19位

ブラジルでの世界大学選手権に日本代表として出場、世界で戦えるという自信を得たことで2028年のロス五輪出場が目標になりました。SNSフォロワー数も3.7万人に達し、協会のPRモデルとしても活躍、ビーチバレーの普及に貢献していきます。

コミットする力、目標達成に発揮



■ **野口 彩陽** (のぐち さや) ●ビーチバレーボール
 ●2001年神奈川県生まれ。2024年3月産業能率大学情報マネジメント学部現代マネジメント学科卒業見込み ●ビーチバレーボールNEXT2021第3回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会優勝、アクティオ杯ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2022第34回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会優勝

ビーチバレーにおいてペアとの意思疎通が何より重要です。すれ違いのときこそ思いを伝える努力を重ね、数々のタイトルを獲得しました。この目標達成にコミットする力を十分に発揮し、オリンピック出場の夢を必ずかなえます。

企業の社会貢献活動に寄与したい



■ **齊藤 元希** (さいとう げんき) ●パラ卓球(車いす)
 ●2001年神奈川県生まれ。2024年東京国際大学言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科卒業見込み ●2022年、タイオープン個人戦3位・男子ダブルス3位、同年世界選手権個人戦5位・混合ダブルス9位、同年第14回全日本パラ卓球選手権大会個人戦優勝・混合ダブルス優勝

東京パラ出場を逃した雪辱を2024年パリパラ出場とメダルの獲得で果たしたいと思っています。プレーを通して勇気や感動を与えられる選手となり、社内に一体感を醸成し、企業の社会貢献活動にも寄与できるよう力を尽くします。

徹底した自己管理で結果につなぐ



■ **山本 稜弥** (やまもと りょうや) ●トライアスロン
 ●2001年富山県生まれ。2024年3月専修大学人間科学部社会学科卒業見込み ●2021年第18回日本デュアスロン選手権出場、2022年第13回日本学生スプリングトライアスロン選手権オープン8位、同年第14回日本スプリントトライアスロン選手権出場、同年第77回国民体育大会出場

大学で競技を始め、徹底した自己管理により、わずか1年半後に国際大会の標準記録を突破しました。けがも体調を崩すこともなく常に心身の状態を万全に保ち進化を続けています。子どもたちへの指導などを通じて地域貢献にも力を入れています。

大けがで培った精神力を武器に



■ **元木 咲良** (もとき さくら) ●レスリング
 ●2002年埼玉県生まれ。2024年3月育英大学教育学部教育学科卒業見込み ●2022年、明治杯全日本選抜レスリング選手権大会59kg級優勝、同年U20世界レスリング選手権大会59kg級優勝、同年シニア世界レスリング選手権大会59kg級3位、同年天皇杯全日本レスリング選手権大会62kg級優勝

2年前、膝の大けがで8カ月実戦から離れた時期があり、苦しい中で「今できることを精一杯やる」と気持ちを切り替えてリハビリ・筋トレに取り組み、復帰後に競技力が飛躍的に向上しました。必死に挑む姿で多くの人を勇気づけていきたいです。

粘り強さと明るさで勝負



■ **和田 なつき** (わだ なつき) ●パラ卓球(知的障がい)
 ●2003年大阪府生まれ。2022年3月八洲学園高等学校卒業、有限会社だいこん畑(就労継続支援A型事業所)在職中 ●パラIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会2022ダブルス優勝・シングルス準優勝、ブリスベン2022Virtusオセアニア・アジアゲームズミックスダブルス優勝・女子ダブルス3位

コロナ禍をきっかけに用具から戦型まで全て一新したところ、みるみるうちに戦績につながりました。まだ成長途中、限界は見えていません。持ち前の粘り強さと明るさで国際大会を勝ち抜き2028年ロスパラリンピックを目指します。

■お問い合わせ

アスナビ説明会は本会での開催以外でも、毎月JOCで開催をしています。アスナビに関するお問い合わせや、選手との面談希望、その他アスリートの就職支援をお考えの方は下記までご連絡ください。お問い合わせの際は「経済同友会会員」とお知らせいただくとスムーズです。

公益財団法人日本オリンピック委員会
 JOC キャリアアカデミー事業

担当：柴(m-shiba@joc.or.jp)

広本(j-hiromoto@joc.or.jp)

電話：03-5963-0354 ※電話受付は10~18時